

第 1 部 FLY

Opening 悲愴 (チャイコフスキー)

I wanna be free~Look at yourself (2・3年合同) <ユーライア・ヒープ> arr by 橋本武寛

第13回定演のオープニングはにぎやかにユーライア・ヒープの曲を2つ続けてお送りします。そのあなた、自由になりたいからってあわてて鏡の中をのぞき込まないで下さい。アッ鏡が……。 (曲名をよく見て!!)

Don't think twice it's all right in August (2年) <小林正治> arr by 小林正治

僕たちはどこに眼を据えるかによって、自分たちの過去をどのようにでも眺めることができる。そして、夢とはつねにそのようなものだ。あの8月は、そのような夢と錯覚との集積でしかなかったのだ……ねえ君。

We had it all (3年) <リタ・クーリッジ> arr by 野崎実

何もかも失ってしまった女。でも彼女は幸せだった頃を夢に見て、彼の微笑をいつまでも信じていたい。そんな切ない女心を我々KW'76の女の子が主人公になりきってしっとりとして歌いあげます。

Wake up (3年) <オーリアンズ> arr by 大阿久雅広

アレンジほど恐ろしいものはない!! 曲の最後のアレンジのため、この曲もとうとう宴会ソングと変わり果ててしまったのです。でもこの曲、ほんとうは、オーリアンズが歌っている公害反対の歌なのです。

Over and over again (4年) <ザ・リッチー・フューレイ・バンド> arr by 伊藤文一

ウエストコーストからの熱い風、我々4年の最初のメッセージはこの曲です。独特の高いハーモニーに、組曲的要素を盛りこんだこの曲の衝撃性にきっとあなたは驚かれることでしょう。

Water is wide (4年) <traditional>

我々K・Wの練習曲の中で最もメロディーラインが美しいといわれているこの曲に、なんとア・カペラで挑みます。美しいハーモニーに託して恋を失った女心を切々と歌いあげてみたいと思います。

Give your best (1年) <ビージーズ> arr by 橋本武寛

さて、いよいよ期待の1年生が登場します。えっ、これがあのビージーズの曲? なんて思うようなアフター・ビートの乗りに乗った曲で今年はお目見えです。鬼のような夏合宿をなんとか乗り込め張り切って歌います。ヨロシク!!

Lovin' somebody on a rainy night (1・2年) <E・ダン&J・フォード> arr by 伊藤明博

2度目の来日で話題騒然(?)のE・ダン&J・フォードの非常にミーハーめいた曲。なんと邦題が「雨のラブナイト」とは…。若くて元気な1年にはいいのですが、2年には多少ついていけない人がいそうですね。

Here come the flood (2・3年) <ピーター・ガブリエル> arr by 大阿久雅広

NHK大河ドラマ風のア・カペラから、ジェネシス風のメランコリズムに導かれ、壮大なコーラスへ発展します。エフェクトを駆使した分厚い音の洪水があなたを襲い、第1部の終幕へ連れ去るでしょう。

喫 茶

あたたかいふんいきのある

きさくなお店

らぶりん

パーティーの御予約もどうぞ

どなたでもお気軽に

ご利用ください

三田慶応前

電話 (402) 9493

第 2 部 TRY

II 部 特集『ふるさと'78』

人は皆それぞれ心のよりどころとなる“ふるさと”をもっています。それが自分の故郷であれ、母親のあたたかい手のぬくもりであれ。そしてずっとずっと昔から人々はその“ふるさと”を、嬉しい時も悲しい時も歌という形で表現してきました。それは民謡となり童謡となり、今も私達の心をなごませてくれるのです。今回は2部を“ふるさと'78”と名付けて民謡の特集にしてみました。考えてみるとK.W.の音楽のふるさとも民謡の中にあるような気がします。しかし民謡を過去の回顧として受け取りたくはないのです。我々の手で作った民謡の'78版を心ゆくまでお楽しみ下さい。

八木節(群馬県民謡)

(1・2・3・4年)

arr by K. W.

ヨーッ!というかけ声で景気をつけて、皆でワイワイ楽しく唄います。ふりつけなんか入ったりするのですが、これがギターやタンバリンを持ちながらやるのでなかなか大へん。果して合いますやら……、見てのお楽しみ。

会津磐梯山(福島県民謡)

(1・2年)

arr by 伊藤明博

1度でいいから、朝寝・朝酒・朝湯の生活がしてみたい!! これが我々凡人たる男子の一生の願いなのです。では景気よくインフレ飛んでけ!! と願いつつ1・2年の会津磐梯山です。

かんこおどり(石川県民謡)

(3年)

arr by 橋本武寛

その昔、僕らが1週間心待ちにしているTV番組がありました。その名は『ステージ101』、その彼らが昔歌っていた曲で、農民が石川県の白山へその年の豊作を祈願して舞いを舞う時の歌です。

コキリコ(富山県民謡)

(3・4年)

arr by K. W.

「こきりことは楽器の一種。ささらは子をあやすおもちゃ。さんさは雪…。」毎年上級生が一年に言葉の意味を一つ一つ説明します。そうしてそれぞれの心に育てられた春遅い雪国の日本の情景。しっとりと歌い上げます。

小原節(鹿児島県民謡)

(2・3年)

arr by 大阿久雅広

ユ、ユニーク!これは電気洋風六弦琴奏者が、エキゾチックパラノイア性ヒポコンデリア分裂症の真最中にアレンジした曲で、音取りした途端全員にこの病気が伝染し、パニックに陥りました。人気度で十指に数えられる民謡です。

ソーラン節'78(北海道民謡)

(2・3・4年) arr by K. W.

rearr by 大阿久雅広

実にKW精神の原点、KW根性の源泉、KW的苦悶の原因、KW的涙の種と言われる伝統曲の象徴です。命がけで漁に出る男達と見守る女達、激しいビートのアレンジに若干の彩色を施した'78年版です。



音楽と珈琲

エンゼル

三田慶応大学東正門前通り
TEL (456) 0011-0012

Music & Coffee

第 3 部 CRY

THIS IS SINGOUT OF KW

Grand Canyon (The Back Band) <F・グローフェ> arr by 大阿久雅広
大峡谷の日の出の雰囲気あたりを包む中を、第3部は静かに幕をあけます。バック・バンド隊だけで構築するこのサウンドはKWでは前代未聞のものです。悠々とのぼる太陽はやがて次の曲を照らしたのです。

Communion with the sun (2・3年) <ユートピア> arr by 大阿久雅広
シンガーズも登場して、現代的な太陽への賛歌を歌いあげます。何と「太陽は神聖なるシンセサイザー」ハードかつ複雑なリズム陣の上で火花を散らすエレキとオルガンのリード・バトルに御注目。

She is gone (2年) <ティンパンアレイ> arr by 伊藤明博
愛する人にすてられ、1人冬の街角をさまよひ歩く男の身に、ふりだした雨は、一層冷たく心にしみるのでした。She is gone…… 彼女は行ってしまった。

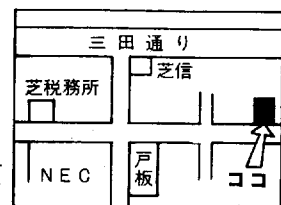
カチューシャ (2年) <ロシア民謡> arr by 松井弘樹
恋人を戦場へ送る少女の願いを歌った“カチューシャ”は、わが国でも広く歌われています。これに、兵士の決意を描いた“アルテリの歌”を加えて、KW'77がスラブ民族の愛国心に迫ります。

The man I'll never be (3年) <ボストン> arr by 橋本武寛
僕は君の望むような人間ではないし、そんな人間になれそうもない。でも君が望むのはそんな人なんだね。だから僕はいつもつかれてしまう。恋する男のこんな心境を歌った曲です。女の人って理想主義なんだから!!

朝日のあたる家 (3年) <Traditional> arr by 野崎実
巨大な繁栄と富の影に退廃と虚無という二面を合わせ持つ国アメリカ。ニューオーリンズの裏通りでは今日もアメリカの国旗に背を向け少年達が自分の生きざまを晒す。人々はそこを「朝日のあたる家」と呼んだ。

**ジャンルは問わない
一度来てみる
ただそれだけ**

新しい感覚を先取り
しているあなたに
いつもナウな音楽を



COFFEE & WINE
MUSIC ROOM

TEA TIME 10:00 ~ 18:00

DRINK TIME 18:00 ~ 1:00

港区芝3-31-6 454-9193

TAKE5
テイク
ファイブ

Lady Luck

(4年)

<ケニー・ロギンス>arr by 伊藤文一

こんな曲にはめったに出くわさない。ケニー・ロギンスは我々にとても良い曲を残してくれた。しかしその良さをどこまで表現できるか。Lady Luck……まさにそのサウンドは現代を代表するものである。

Follow the drinkin' gourd (4年)

<traditional> rearr by 伊藤文一

K.W.の真髄とも言うべきこの曲を最後に我々は去ってゆきます。「北斗七星をめざして進めば自由の地にたどりつける」重々しいリズムでそれを浮き出し、K.W.'75全員心意気がかつ限り歌い上げます。

————— ENDING BLOCK —————

The Long and Winding Road (3・4年)<ザ・ビートルズ>arr by 伊藤文一
大阿久雅広

数あるビートルズの曲でも最もドラマチックな曲といえば、そうこの曲です。美しいストリングスの旋律に長かった我々の軌跡をしっかりと歌いあげる、そんな3・4年の気持にぴったりの曲です。

悲 愴

(2・3・4年)

<ベートーベン>arr by 大阿久雅広

かの楽聖の名旋律をモチーフに、KWが創りあげたシンフォニック・ロックの大作です。静と動の交替のうちに、コーラスとバックは一体感目指してクライマックスに突入します。

Even Now

(1・2・3・4年)

<バニー・マニロウ>arr by 橋本武寛

さて、いよいよ Ending, 1年間練習を続けてきた我々の発表会の総決算です。1年生から4年生まで心を1つに、思い切り歌います。

遙かなる虹

(1・2・3・4年)

words&music by 大阿久雅広

錯走した青春の迷路の中で、私たちが目指した虹とは一体何だったのでしょうか。ストリングスの描く宵闇廻る坂道、めいめい解答を胸に、私たちの最後の絶唱です。

手づくりの和菓子の店

品川宿

紅家

南品川本店 (471) 7862
4107
京浜急行新馬場駅下車
北品川店 (471) 4449